

線状降水帯による豪雨で発生した近年の土砂災害事例

平成26年8月豪雨（8/20 広島市での土砂災害）

局地的な集中豪雨により、広島市で土砂災害が多発し、死者77名を出す甚大な被害が発生した。



平成27年関東・東北豪雨（9/10～9/11）

台風による影響で関東や東北地方で記録的豪雨となり、多数の浸水被害や土砂災害が発生した。



平成29年九州北部豪雨（7/5）

福岡県や大分県を中心に観測所記録を上回る豪雨が発生し、土砂災害による死者は20名となった。



平成30年7月豪雨（7/6～7/8）

西日本を中心に記録的な豪雨となり、広域的かつ同時多発的に河川の氾濫や土砂災害が発生した。この豪雨により全国で死者224名、行方不明者8名を出す極めて甚大な被害が発生した。



- ・線状降水帯などの記録的な豪雨による土砂災害が全国各地で頻発しています。
- ・土砂災害の危険箇所を予め把握したり、安全な場所に避難するための情報の入手方法を確認するなど、「土砂災害から命を守る」ためのポイントを確認しておきましょう。